

令和2年度 放課後等デイサービス自己評価の集計結果（公表）

		事業所名			児童デイサービス 若竹		
	チェック項目	回答数	① はい	② どちら ともい えない	③ いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	6				
	② 職員の配置数は適切であるか	6	5	1		①保育士などの有資格者を配置基準よりも多く配置している。	学校休業時の受入体制を整備する為、職員の勤務シフト（早番・遅番など）を調整した。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4	2			車椅子使用者の利用も増えてきたが、事業所にリフト車が無く、今後の受入状況によっては検討が必要。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	6	3	3		①同一対応するよう周知され、振り返りも必ず行われている。	
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	4	2			保護者から要望の多かった土曜日の営業時間延長について、今年度から半日営業から1日営業に変更している。
	⑥ 自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	6			①毎年、自己評価表の結果はホームページで公開している。	保護者の事業所に対する関心が高まるよう、自己評価表の結果について、保護者へ周知していきたい。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	5	1		①相談や苦情、ヒヤリハットや事故、サービス自己評価の内容など、第三者委員会へ報告し助言などを得ている。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	4	2		①内部・外部の各種研修に参加する機会を設けている。（今年度はコロナウイルスの影響で研修への参加は減少）	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6	4	1	1	①面談や保護者との連絡帳、送迎時の報告などの中で情報を得ながら、計画を作成している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	4		②事業所独自の様式を使用しているが、利用者の状況把握は出来ている。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	5	1		①活動内容は職員間で意見交換しながら計画を立て実施している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	6	4	2		①季節に応じた制作活動等を取り入れている。	
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか	6	3	3		①学校の長期休暇時には、平日には実施できない活動を企画している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	6	4	2			
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	6			①利用者受け入れ前に申し送りを実施。	
	⑯ 支援終了後には職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	2	2	①終了後の打ち合わせはしていないが、情報は必ず報告されている。	その日ではなく、翌日の申し送りで行っている。（職員の勤務時間が異なるため）
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	4	2		①業務に関する記録は、業務日誌や利用者個々のケース記録に記載している。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	5		1		半年毎に定期的見直しを行っているが、適宜の見直しが行えるよう体制を整備していく。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	3	3				
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	5	1		①担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加している。		

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	6			①学校迎えの際に、学校での様子や昼食量などを確認している。	
	㉑	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	3	3			現在は該当者がいない為、医療機関との直接的な連絡体制は無い。（必要に応じて検討していく）
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1	4	1	②就学前の情報等は相談支援事業所を通して情報を得ているが、保育所などと直接連絡を取り合う事は少ない。	行えていない為、児童発達支援管理責任者を中心とした連絡体制を整える必要がある。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	6	4	2		①障害福祉サービス事業所等から依頼があれば情報提供している。卒業時の担当者会議での情報共有もあり。	
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3	1	2	①発達障害や自閉症などの研修に参加する等している。	今年度はコロナウイルス感染拡大により実施できていない。
	㉕	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	2	4		①秋田市障がい者総合支援協議会の児童部会委員として、協議会開催時は参加している。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	6			①保護者との連絡帳の活用や、送迎時の報告などにより情報共有を図っている。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	2	3	1		保護者からの相談に対しての助言は実施しているが「ペアレントトレーニング」等の支援には至っていない。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	3	3		①利用契約時に、書面により重要事項などについて丁寧な説明を心掛けている。	
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	5	1		①保護者からの相談や悩み事に対しては、都度応じている。	
	㉚	子どもや保護者からの苦情・意見について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	5	1		①苦情や要望には速やかに対応しており、記録として残している。	
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定・連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	6			①入所部門と共通の広報紙「たけのこ通信」の毎月の発行や、保護者との連絡帳を活用して発信している。	
	㉜	個人情報に十分注意しているか	6	6			①写真の掲載や利用者個々の作品展示など、利用契約時に意向を確認した上で対応している。	
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	5	1		①状況に応じて、視覚的支援なども活用しながら、意思疎通・情報伝達などを実施している。	
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	4	1	1	①地域との交流行事として入所部門と共同で「ハロウィン祭」を開催している。（今年度は感染症の影響で中止）	保護者同士が情報共有できる行事が年間計画の中にあれば良いと思う。
非常時等の対応	㉟	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	6			①利用契約時に保護者へ説明する他、感染症流行期には対応方法について保護者へ改めて通知している。	
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	6	6			①定期的に避難訓練を実施している。	
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	4	2			
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	6	4	2		①現在、身体拘束が必要な利用者はいないが、必要時には保護者への十分な説明と同意を得た上で実施する。	
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	5	1		②アレルギー情報については、保護者から確認している。	利用者や保護者が安心して利用できるよう、自己注射薬の使用に関する研修なども検討していく。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	6			①事故やヒヤリハットが発生した際は、職員間で情報共有を図り対応方法を検討して、記録に残している。	
評価全体の平均値			平均 回答数	平均 回答数	平均 回答数	平均 回答数		
			6.0	4.3	1.5	0.2		